ガイドライン（STEP３）の策定にあたって

|  |
| --- |
| 　このガイドラインは、2020年８月１日に策定した「改訂版大会開催ガイドライン」を8月11日に発出された「日本陸連陸上競技開催ガイダンス(第2版)｣をもとに、さらには本協会の主催大会実施における反省をもとに修正したものです。現実に即した柔軟な対応が必要となります。さらに安全・安心の中で大会が開催できますよう、ご理解とご協力をお願いします。 |

Ⅰ.競技会開催の前提条件

1. 緊急事態宣言の解除

(1)移動制限の解除　　　　　(2)不要不急の外出自粛の解除

(3)店舗営業自粛の解除　　　(4)学校の部活動が認められている(高校生以下の競技会)

２．鳥取県からイベントの開催が認められている

３．新型コロナウイルスに感染症に関する医療体制が整っている⇒緊急時の後方支援病院

　　[感染症指定医療機関]

|  |
| --- |
| 〇鳥取⇒鳥取県立中央病院　(鳥取市江津730)〇倉吉⇒鳥取県立厚生病院（倉吉市東昭和町150）〇米子⇒鳥取大学医学部付属病院（米子市西町36-1）〇境港⇒鳥取県済生会境港総合病院（境港市米川町44） |

４．競技会に関わる全ての人の健康状態の管理体制を整える

５．日本陸連ガイダンスに沿った競技会運営をする

Ⅱ．提出用チェックリスト(提出が必要なもの)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **種別** | **提出書類** | **様式NO** |
| **大会担当者** | 競技会開催の基本情報と前提条件の確認[提出用チェックリスト] | 様式１ |
| **選　手** | 同意書･体調管理表(2週間分)大会当日の体調チェックシート | 様式３様式５(当日：チーム用) |
| **役　員** | **健康チェックシート(2週間分)** | 様式２(役員用) |
| **観　客** | 大会観戦申込書(事前申請書)**健康チェックシート(2週間分)****調査用紙** | 様式６様式２(観客用)様式４(当日：観客用) |
| **報道・業者等** | 事前申請健康チェックシート(2週間分) | 様式なし(電話・当日受付)様式４(当日：報道他用) |

Ⅲ.基本的注意事項

　　１．３密の回避⇒招集所・更衣室・トイレ･役員控室・チームテント・記録掲示エリア

　　２．感染症対策⇒手洗い・手指消毒・うがい・換気

　　３．主催としてすべきこと⇒地域･医師会･医療機関との協力・情報提供

　　４．参加者がすべきこと⇒体調管理･競技会後の発症時の対応・主催者への連絡

５．「コロナ＋熱中症」防止対策

６．観客のコントロール(無観客試合でも新たな密発生防止対策)

Ⅳ.配慮事項

(1)感染防止対策　　(2)対象者ごとの配慮事項　　(3)競技種目ごとの配慮事項

(4)施設における配慮事項　(5)メディア･取材への配慮事項　(6)競技終了後の対応事項

(7)観客に対する対応事項及び感染予防策　(8)観客から感染者が出た場合の対応

　なお、新型コロナウイルス感染症への防止対策については、必ずしも十分な科学的な知見が集積されているわけではありません。今後の新たな科学的な知見の集積、感染状況を踏まえて逐次見直すことがあり得ますのでご留意をお願いします。

**大会開催における基本方針**

以下の方針で(一財)鳥取陸上競技協会は取り組みます。

1. **鳥取陸協としての方針**

―選手・競技役員・補助員・大会関係者・観客の安全・安心を最優先して大会を開催する―

(1)9月以降の事業について予定通り実施する方向で準備する。

(2)事業実施については最大の感染防止対策を講じる

◆状況が急変したとき⇒「恐れすぎない。正しく恐れて判断する。」

　　　　(3)開催不可の場合は可能な限り代替大会、イベントを開催する。

(4)**65歳以上の方にも競技役員委嘱をしますが、体調等に不安のある方は決して無理をしないようにお願いします。**

**①通常開催⇒②参加制限・規模縮小での開催⇒③期日の延期または中止、代替大会**

**２．大会の開催可否の判断基準**

⇒対策委員会(執行部・関係理事・専門部長)で協議⇒理事の承認

**(1)国、県、日本陸連の方針に従う。**

(2)感染拡大状況により、協会として独自に判断することもある。

　　　　 ①他県からの参加がある大会(中国大会等)⇒原則　中止とする。

②２日以上の大会⇒規模縮小して１日開催にする。

(3)大会前遅くとも２週間前をめどに判断を決定する。

(4)大規模大会についてはエントリー開始までに開催の可否を決定する。

 (5)大会開催の判断をしても状況急変により直前の中止も有り得る。

**３．大会開催における対策**

(1)「３密」の回避⇒選手・チーム関係者・保護者・競技役員に事前要請･周知する。

(2)大会会場の防止対策を万全にする⇒「**NO!　３密」の徹底をはかる。**

**(3)無観客試合を原則とする。**

**４．競技役員関係**

**(1)大会責任者・大会担当者**

1. 「コロナ感染防止対策責任者」を設置する⇒専務理事、常務理事、総務、委員長など
2. 主催・後援大会⇒日本陸連提出チェックリスト**(様式１)**提出⇒**鳥取陸協**
3. 重要な注意事項等があればHPに掲載して事前周知⇒鳥取陸協に事前に申請する。
4. 感染防止対策の衛生物品の準備と適切な配置をする。
5. 会場の感染リスクエリアを確認して人員、衛生物品、注意書き等を設置する。

**(２)各競技役員が各自で準備するもの⇒**マスク・体温計・消毒液・石けん・飲料水・タオル

**(３)提出すべきもの⇒健康チェックシート(様式２)**

　◆競技役員派遣依頼文に同封⇒２週間前から体調を記載する⇒受付時に提出する。

　　　◆その他⇒鳥取陸協HPよりダウンロードする。

**５．その他**

(1)感染予防については日常の生活において「新しい生活様式」を実践すること。

　　(2)新しい情報や変更等は随時鳥取陸協HPに掲載するのでこまめに確認すること。

**大会開催時の具体的な対策**

－３密空間の回避(**NO!３密**)―

|  |
| --- |
| ①手洗い・消毒・うがい　②マスク着用・咳エチケット＋熱中症対策　③換気・人混みを避ける |

◆大会開催における感染リスクエリア

　　　❶更衣室　❷招集所　❸チーム応援席　➍役員控室　❺記録掲示エリア　❻競技役員受付

❼会場往復の交通機関　　❽競技場外の観客の密集、密接エリア(各ゲート等)

**［運営側の対策］**

(1)審判員のマスク着用⇒熱中症対策も併せて実施(距離を保って適宜外す)

(2)消毒液・石鹸を随所に設置

(3)選手及びチームスタッフ以外の参加禁止、会場への入場禁止

(4)参加料の当日徴収または事前振り込み

(5)競技役員控え場所は椅子のみとして間隔を1～2m空ける

(6)使用する部屋の小まめな換気⇒1時間に１～２回（5～10分）

(7)エントリー締め切り期日の延期⇒開催の可否が不明瞭な時

(8)大会期日の延期(休校による「練習不足」⇒事故発生の回避)

(9)使い捨ての腰ナンバーの使用⇒**「シール式腰NOカード」使用(布製は適宜消毒)**

(10)競技開始時刻を遅らせる⇒時間差集合を図る

(11)参加制限の設定⇒低年齢選手の参加制限・他県からの参加禁止

(1２)昼食弁当の配布⇒マスク及び衛生手袋着用

(13)ペットボトル、コップ等での飲料の回しのみ禁止⇒使い捨て紙コップ

(14)「体温計」「消毒液」「タオル」「飲料水」等持参

(15)注意ポスターによる広報(要所への掲示)

**［参加者への対策］⇒選手・役員**

◆参加制限：鳥取県在住の選手のみの参加とする⇒他県からの参加を認めない

◆年齢制限：小学生の参加を認めない・中学生の参加も認めない　　　など

（１）過去2週間以内に風邪の症状(発熱、せき、鼻水等)で受診、服薬ある者の参加禁止

(2)当日の朝、自宅で検温⇒**普段より高い熱**の時は参加禁止**（37.5℃にとらわれない！）**

(3)熱がなくとも風邪症状のある者の参加禁止

(4**)息苦しさ**がある時、**風邪の症状・発熱者・体調不良者**の参加・来場禁止

**(5)無観客での開催を原則とする**

(6)観客を入れる場合⇒人数制限・コントロールを実施

事前申請、IDカード、保護者・チーム関係者等厳密に制限・応援エリアの制限

(7)発声応援・集団応援の禁止⇒**拍手応援**

(8)チーム控え場所(テント等)の間隔を空ける⇒１０ｍを目安

(9)マスク・体温計・消毒液・タオル・飲料水持参

(10)会場への移動について「3密回避」の安全な方法をとる

(11)チームでのミーティング時の「３密回避」

**―大会参加及び大会実施におけるガイドライン（STEP３）―**

**大会参加について**

１．大会に参加する選手、監督、コーチ、競技役員(以下　大会参加者)は過去２週間以内に県外へ行っていないこと。

1. 特に以下の地域の在住者との濃厚接触がないこと。(８月27日　現在)

|  |  |
| --- | --- |
| **特別感染警戒地域(19)** | **群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・富山・石川・福井・長野・愛知・滋賀・京都・大阪・兵庫・山口・徳島・福岡・長崎・沖縄** |
| **重要感染警戒地域(12)** | **北海道・福嶋・茨城・山梨・静岡・三重・奈良・高知・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島** |
| **感染警戒地域(11)** | **岩手・宮城・秋田・栃木・岐阜・和歌山・島根・岡山・広島・香川・大分** |

**※警戒指定地域は状況の変化によって毎日更新される**

**⇒「鳥取県新型コロナウイルス感染症特設サイト」で大会開催時の状況を確認すること**

1. 大会参加者は、**大会２週間前**から別紙**「同意書・体調管理表(様式３)」**を記録すること。

大会参加者は**「大会当日のチェックシート（様式５）」**を記録すること。(チーム単位で提出)

1. 体調不良、発熱等の風邪の症状がある場合は参加できない。(事前に報告すること)
2. 大会参加者は**「体調管理表」・「大会当日のチェックシート」**を大会本部に提出すること。

**移動・宿泊について**

１．移動する際は必ずマスクを着用し、周囲との間隔をあけること。(借り上げバスも)

1. 可能な限り、移動中の換気に努めること。
2. 大会が連日開催となる場合もできるだけ宿泊を行わない。（原則 日帰り参加）

４．やむなく宿泊する場合は個室･シングル対応とすること。

**大会運営全般について**

**１．「感染症予防対策責任者」を置く⇒大会総務または大会責任者**

　　(1)大会での予防対策の実施と事前の周知徹底をはかる。⇒鳥取陸協HP・文書

　　(2)具体的な予防対策を保護者、選手、競技役員に提示する

⇒鳥取陸協HP・文書・注意喚起ポスター

　　(3)選手の参加については**「体調管理表＋同意書(様式３)の提出」**を求める。

**２．マスクの着用**

　　(1)監督・コーチ・競技役員・補助員はマスクを着用する。

　　　　　　　　⇒高温下では**熱中症に十分注意**し、水分補給を小まめにする。

　　(2)選手はW－UP、競技場面以外ではマスクを着用する。

　　(3)対面場面ではフェイス･シールドを使用する。

**３．密集･密接場面を回避する⇒人数制限とソーシャルディスタンス**

　　(1)参加者合計を**5,000名以下**にコントロールする。

⇒参加人数は鳥取県ガイドラインの指示による

　　　　〇観客について

⇒観客制限(保護者のみ・県内在住者のみ)または　無観客(観客入場⇒スタッフ配置)

　　　　　　　　**原則「無観客」とするが、会場、参加者により柔軟に対応**

　　(2)会議室は収容定員の半分以下にコントロールする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⇒机を撤去し、椅子のみ使用（1～２ｍ間隔）

　　(3)更衣室は収容定員の半分以下にコントロールする。

　　　　　　　　　　　　　　　　⇒担当役員を入口において混雑を防ぐ・注意喚起ポスター掲示

　　(4)中2階に更衣用簡易テントを設置する⇒休憩場所の距離確保と更衣室の密回避

**４．受付の防止対策を徹底する。**

　　(1)参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する⇒STOPマーク(1～２ｍ間隔)

　　(2)対面場所は必要に応じてビニールカーテンを設置して遮蔽する。

　　(3)対面作業を極力回避する。

　　　　　　　　　⇒参加料事前振込・プロ販売なし・プロ訂正事前申請・その他　WEB活用

　　　　　　　　　　　**※参加料は原則返金しない(エントリー前の中止決定時は返金する)**

**５．開閉会式及び表彰式は実施しない。**

**６．共用を回避する。**

(1)競技用具で共用するもの(Sブロック・リレーバトン・投擲用具等)は定期的に消毒する。

(2)腰NOカードは可能な限り、使い捨ての**シール式NOカード**を使用する。

(3)布製腰NOカードは１回ごとに消毒する。

(4)水分補給は個人で容器を用意する。タオルも個人で準備する。

1. **換気を徹底する。[1時間に１～２回　５分～10分]**

(1)感染リスクエリアの換気

更衣室・受付エリア・写判室･放送室・競技役員控室・招集所・雨天練習場・トイレ等

(2)夏季は熱中症対策の休養室(布勢：第３研修室)の換気も状況に応じて適宜実施する。

1. **発声応援を禁止する**

(1)選手・監督・コーチの**発声応援を禁止**する。拍手応援する。

**(2)選手への激励の意味で競技役員の「拍手」での応援を許可する。**

(3)チームでの**集団発声応援は厳禁**とする。拍手応援する。(特にリレー種目注意)

**９．選手待機場所のソーシャルディスタンスの徹底**

　　(1)選手待機場所(テント等)は１０ｍの間隔をとる。

　　(2)待機場所内でのチームメイトとの距離を１～２ｍとる。

　　　　**※布勢メインスタンド中２階には仮設更衣テントを12張設置する**

**観客について**

**１．原則無観客で実施する。**

２．観客を入れるときは**鳥取県内在住者**とし、人数制限を行う。

３．観客は**原則保護者のみ**とする。

４．観客を入れるときは観戦エリアを設け、選手との接触を避ける。

５．観戦するときは**「大会観戦申込書(様式６)」「健康チェックシート(様式２)」**を提出する。

６．観客は入場時**「調査用紙(様式４)」**を記載し、退場時に提出する。

７．許可された観客にはIDを配布する。

８．大会**当日の朝、検温**し、風邪の症状がある時は入場できない。

９．必ず**マスクを着用**する。

10．周囲との間隔を２ｍ開ける。

**11．発声応援は禁止**する。拍手応援する。

12．会場内での**飲食は禁止**する。(水分補給や服薬は除く)

13.タオル、飲料水は共用しない。

**上記のことが守れない時は退場していただく**

**※無観客での大会において競技場外から観戦される際に密集場面が生じます。観客の皆様にはたいへんご不便、ご迷惑をおかけしますがソーシャルディスタンスの確保に格別のご協力をお願いします。**

**報道及び関係業者等について**

**１．「事前申請(電話･当日受付)**を行い、**「健康チェックシート(様式２)」**を提出する。

２．来場時**「調査用紙(様式４)」**を記載し、業務終了時に提出する。

３．許可された関係者にはID、ビブスを配布する。

４．大会**当日の朝、検温**し、風邪の症状がある時は入場できない。

５．必ず**マスクを着用**する。

６．周囲との間隔を２ｍ開ける。

**７．インタビュー等については担当者の了解をとり、安全な場所で安全な距離を保って行う。**

８．会場内での**飲食は禁止**する。(水分補給や服薬は除く)

９.タオル、飲料水は共用しない。

**上記のことが守れない時は退場していただく**

|  |
| --- |
| ―有観客競技会の条件について―１．大会開催日時点で国、県、日本陸連、鳥取陸協が定めているガイドラインに準じて運営する。1. 収容人数の制限をする

３．入場対象の制限をする⇒原則鳥取県在住者に限る４．入場条件を設ける1. 観戦エリアを設定する
2. 氏名、住所、連絡先など個人情報を提出する
3. 入場時に体調チェック、検温をする
4. 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がないこと
5. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がないこと
6. 過去14日以内に鳥取県が定めた国内感染警戒地域（都道府県）へ行っていないことまたは当該在住者との濃厚接触がないこと

※スマートフォンに新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」導入を推奨する |

**（参考)布勢陸上競技場の観客定員18,000人**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **場所** | **仕様** | **面積（㎡）** | **定員(人)** | **1/2(人)** | **1/3(人)** | **1/4(人)** |
| **メインスタンド** | **椅子席** | **＊** | **7,000** | **3,500** | **2,330** | **1,750** |
| **バックスタンド** | **芝生** | **1,504** | **5,200** | **2,600** | **1,730** | **1,300** |
| **サイドスタンド(南)** | **芝生** | **779** | **3,100** | **1,550** | **1,030** | **775** |
| **サイドスタンド(北)** | **芝生** | **902** | **2,700** | **1,325** | **900** | **660** |
| **合計** | **＊** | **＊** | **18,000** | **9,000** | **5,990** | **4,485** |

**※スタンドの面積は芝生部分のみ(通路含まず)**

**感染者が発生した時の対応について**

**感染疑い者発生⇒保 健 所⇒感染症指定医療機関⇒診　察**

１．参加者に感染者が発生したときは、参加者等に連絡を取り、症状の確認が取れる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力すること。

２．**大会終了後２週間**以内に参加者が発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること。(連絡先は本ガイドライン最終ページに掲載)

**大会開催の可否について**

１．チーム、学校関係者に感染者が発生した場合には、開催を中止することもある。

1. 十分な防止対策がとることができない場合は、開催を中止することもある。

**競技役員全般**

**日本陸連ガイダンス⇒65歳以上の競技役員には原則として委嘱しないことが望ましい**

**陸連ガイダンスを遵守したいと考えますが、実際問題として、65歳以上の方々においでいただかなければ大会が開催できません。平常通りに役員委嘱をさせていただきますが、体調に不安がある方は決して無理をされないようにお願いします。**

１．年齢にかかわらず風邪、体調不良だけでなく、感染に不安がある場合は参加しない。

1. 受付時に**「健康チェックシート(様式２)」**を提出する。
2. 主任会議・部署ミーティング等は屋外で実施する。

４．競技役員控室を長時間使用せず、休憩場所を変える。(スタンド等)

５．補助員との連携作業において、密接･密集に注意する。

６．補助員の「３密回避」について適宜指導する。

７．原則日帰りの参加とする（特別事情で宿泊する場合は個室･シングル対応とする）

８．昼食時等に控室内で大声での会話等で密集・密接場面が生じないよう十分に注意すること。

９．選手には観衆の声援がないので競技役員の拍手声援を許可する。

10.その他

**〈選手の動線〉**

1. 招集所への動線⇒防風ゲートより(布勢)　　※他の競技場では密を防ぐ動線設定
2. スタート地点への移動⇒レースまでの安全な待機場所、待機時間の短縮
3. フィニッシュ後の動線⇒密を避ける動線を指示する

**〈トラック競技〉**

1. 招集完了後、現地での待機方法⇒待機時間の短縮⇒現地待機場所へ誘導
2. 中長距離種目におけるスタートの密集回避⇒グループスタート活用

**〈フィールド競技〉**

1. 投てき物の共用について⇒定期的に消毒する
2. 滑り止め(炭酸マグネシウム)について⇒各自で準備(従来の設置はしない)
3. 公式練習等について⇒待機時の密回避

**衛生物品配置について(布勢競技場想定)**

1. 手指消毒液・ふき取り消毒液(付随の消耗品も)

受付所１・庶務１・アナウンス室１・写真判定室１・記録センター１・招集所２

第一研修室(大会本部・控室)３・陸協事務局１、器具庫A,B-２・第3研修室(休養室)1

弁当引換場所１・フィールド競技役員(投擲・跳躍)・補助競技場

1. 手洗い用せっけん⇒トイレ(競技場内・スタンド・補助競技場・外トイレ－３)・手洗い場
2. 遮蔽透明ビニール⇒受付・庶務係・招集所・その他　必要場所
3. フェイス・シールド⇒受付・庶務係・招集所・その他　必要場所
4. 大型扇風機を配置⇒役員控室・休養室(第3研修室)

　**※その他、必要な部署は各主任が必要物品を第２研修室に取りに来ること⇒終了後返却**

**その他**

１．提出された書類は大会後、「感染者予防対策責任者」が１ヶ月保管する。その後、適切に廃棄処理をする。(個人情報厳重管理)

**風邪症状や発熱、味覚・嗅覚に違和感が出たら**

**発熱・帰国者・接触者相談センター**

|  |
| --- |
| **〇東部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(鳥取市保健所内)**(管轄：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)電話：0857-22-5625　時間外0857-22-8111）FAX：0857-20-43962**〇中部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(倉吉保健所内)**(管轄：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町)電話：0858-23-3135、0858-23-3136　　FAX：0858-23-4803**〇西部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(米子保健所内)**(管轄：米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町)電話：0859-31-0029　　　　　FAX：0859-34-1392 |

**全般的な相談窓口**

|  |
| --- |
| 〇鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部電話：0857-26-7799　0857-26-7958　　FAX：0857-26-8143※受付時間：午前8時30分～午後5時15分(土日、主期日を除く) |

〇(一財)鳥取陸上競技協会事務局　0857-28-6540